



市原市・芝山町・習志野市で出前あすなろ塾を開催しました。市原市では「保護者との関係づくり」と「分かる・できる授業づくり」の研修に10名の先生方が、芝山町では「学級づくりのポイント～集団を育てる」と「生徒指導の機能を生かした授業づくり」の研修に8名の先生方が、習志野市の研修では「保護者との関係づくり」と「教材研究と問い」の研修に35名の先生方が参加しました。夏休み明けを考えながら、皆さん熱心に研修に取り組みました。

市原市（令和6年8月26日）

当日の様子と 参加者の声



具体的な事例を通して、自分が学校職員としてどのように対応をしていけばよいのかが具体的に分かりました。9月からの学級指導などにいかしていきたいです。

9月から行かせる内容が多く、不安が軽減されました。ありがとうございました。

来週から使える技がたくさんありました。引き出しが増えました。

芝山町（令和6年8月26日）

当日の様子と 参加者の声



講師経験のない初任で、学級づくりや生徒指導のことで分からないことが多い1学期を過ごしていました。2学期以降は授業の中で認める、指導と評価とフォローをセットにして行う等、少しずつ実践に取り入れていきたいと思います。

自分が行っていた小さなことが生徒指導に繋がっていることが分かり、今後は自信をもって行えそうな気がします。

習志野市（令和6年8月29日）

当日の様子と 参加者の声



実践に生かせる例や演習が多く、自分だったらどうするかを考えることができました。

ペアワークやグループワークが多く、いろいろな意見を共有できる素晴らしい場だと思いました。

発問について、毎日頭を抱えていたので、本日学んだことを生かしていきたいです。